

第3学年音楽科学習指導案

指導者 山梨大学教育人間科学部附属中学校 成田 幸代

1. 日時 平成22年10月23日(土) 10:00~10:50
2. 学年・組 第3学年2組 男子20名 女子20名 , 計40名 於:第1音楽室
3. 指導内容 創作ア, 鑑賞ア〔共通事項〕旋律, リズム, テクスチャ
4. 題材名 自分のイメージにふさわしい歌をつくろう

5. 題材設定の理由

本題材では、これまで3年間の中学校音楽科における歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習で身に付けたことを総合的に働かせながら、旋律創作に取り組ませる。

1年生の時に、歌詞の意味や音楽のフレーズを意識して強弱・速度を工夫して歌唱したり、鑑賞したりする学習を行い、音楽の仕組み(音楽の盛り上がりや続く感じ、終わる感じなど)について理解している。2年生の時には、旋律にふさわしい伴奏を工夫して演奏したり、鑑賞したりする学習を行い、リズムや和音の働き(主要3和音)などについて理解している。また、川柳を用いて言葉のもつリズムを手掛かりにしなが、民謡のテトラコード(ラドレの3音)を入れて簡単な旋律創作を行った。鍵盤ハーモニカやソプラノリコーダーなどを使って直接音を出しながら、音を音楽に構成していくという学習を通して、生徒たちは自分たちのイメージとかかわらせながら旋律を創作する楽しさを感じ取ることができた。

これらの学習をもとにして本題材では、教師の自作による歌詞2つの中から1つ選び、歌詞の意味や言葉のもつリズムや抑揚などを手掛かりにしながリズム創作をさせる。その際、拍子は4分の4拍子、小節数は16小節、形式は2部形式(a-a'-b-a')とする。次に、鍵盤ハーモニカを用いてハ長調の和音進行で和音に使われている3つの音を使って旋律創作をさせる。終わりの音は主音(ド)とする。和音進行は、教師があらかじめ示したものをを用いる。そして、自主製作教材を用いて、和音の構成音のみでつくった旋律と構成音に非和音を加えてつくった旋律とを比較鑑賞させ、和音の構成音以外の音が使われていることによって、旋律の雰囲気が変わることを感じ取らせる。また、「主人は冷たい土の中に」の3段目の旋律を聴いて、音高を高くすることによって、音楽の盛り上がりや音楽の雰囲気を変化させていることを感じ取らせる。この感じ取ったことをもとにして、非和音を入れたり音高を変化させたりしてよりよい旋律創作ができるようにさせたい。これらの学習において生徒たちが歌詞の意味や音楽の仕組み(音楽が終わる感じや音楽の盛り上がりなど)を手掛かりにしなが思いや意図をもって音楽を形づくっている要素あるいは要素同士のかかわりによって生み出される雰囲気や特質を感じ取り、音を音楽へと構成する学習過程を重視したい。

最後に本題材のまとめとして出来上がった作品を学級内で発表会を設定し、互いの成果を発表し合い、作曲ができたという達成感をもたせたい。また、自らの旋律創作の体験とかかわらせて、感性を働かせなが味わって鑑賞させたい。さらに、この楽曲のよさや作曲の工夫などについて生徒同士が伝え合う活動を設定し、音楽に対する考えを一層深めさせたい。

以上が本題材を設定した理由である。

6. 全体研究、教科テーマとのかかわり

音楽科では、楽曲の構造に着目し、さまざまな音楽を形づくっている要素の働きを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受し、それを基にして表現の技能や鑑賞の能力が高められるような題材の構想を行っている。これは、音楽科の授業において教師が指導する内容をそのまま受け入れるのではなく、生徒自らが音や音楽に直接働きかけることによって、音楽を形づくっている要素や特質・雰囲気等から新しく得た情報を思考・判断とかかわらせて自分の知識と経験に組み換え、思考・判断を再構成する学習によって音楽の学力が身に付くものだと考えるからである。そのために、音楽科では、表現領域と鑑賞領域の関連した授業を行う中で生徒が感受を基盤として「かかわり」を意識し、見いだすことができる題材について研究を進めていきたいと考える。

また、昨年度から国立教育政策研究所の「学力の把握に関する研究指定校事業」の3年間（H20年度～22年度）の研究指定校を受け、学習指導要領の目標等の実現状況を把握し、目標に準拠した評価の在り方について実践的な研究を推進していく。

7. 教材について

(1) 教材名

〈創作教材〉

教師の自作による2つの歌詞のうち1つを選択する。

〈鑑賞教材〉

「教師による自主製作教材」

「主人は冷たい土の中に」 武井 君子作詞 フォスター作曲

(2) 教材選択の理由

創作教材は、教師の自作による歌詞を、歌詞の意味や言葉のもつリズムを手掛かりにしながら旋律創作をさせる。

鑑賞教材は、

まず、「教師による自主製作教材」について、次の(A)、(B)のパターンによる演奏を比較しながら聴き、和音の構成音のみではなく非和声音も用いて旋律をつくることによって、旋律の表情が変わることを理解させたい。

(A)は、I-IV-I-Vの和音進行で和音の構成音と非和声音を使ってつくった旋律

(B)は、I-IV-I-Vの和音進行で和音の構成音のみでつくった旋律

そして、「主人は冷たい土の中に」を聴いて、3段目の旋律の最初の音を高くして、音楽の盛り上がりを表していることに気付かせたい。

8. 題材の目標

- ・旋律の仕組みに関心をもち、意欲的に旋律創作したり鑑賞をする。
- ・様々な音の組み合わせによる旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて、イメージを膨らませながら表現を工夫する。
- ・歌詞の言葉のリズムや抑揚を生かして、イメージに合った旋律をつくることができる。
- ・旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴くことができる。

9. 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	旋律の仕組みに関心をもち、意欲的に旋律創作したり、鑑賞している。	様々な音の組み合わせによる旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて、イメージを膨らませながら表現を工夫している。	歌詞の言葉のリズムや抑揚などを生かして、音を適切に選んで、イメージに合った旋律をつくっている。	旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴いている。
具体的評価規準	①言葉のもつリズムや抑揚などに関心をもち、意欲的にリズム創作をしている。 【観察、学習シート】	①様々な音の組み合わせを考え、イメージを膨らませながら、旋律創作を工夫している。 【観察、学習シート】	①歌詞の言葉のリズムや抑揚などを生かしたリズムを記譜している。 【学習シート】 ②音を適切に選ん	①旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴いている。 【学習シート、批評文】

	<p>②旋律を構成する音や音のつながり方に関心を持ち、意欲的に旋律創作をしている。 【観察，学習シート】</p> <p>③旋律と歌詞とのかかわりに関心を持ち、意欲的に鑑賞している。 【観察，批評文】</p>		<p>で、イメージに合った旋律をつくっている。 【学習シート】</p>	
--	---	--	---	--

10. 題材の指導と評価の計画

ねらい	時	学習活動	具体の評価規準	☆Aと判断する生徒の状況例 ----- ■Cと判断される状況への働きかけ	備考
歌詞に旋律をつける。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が選んだ2つの歌詞の中から1つ選んで、1段目と3段目に言葉のまとまりやリズムを生かしてそれぞれ4個（4小節）に区切る。 ・区切ってできたそれぞれの部分に合うリズムを4拍子で考えて、リズム譜に表す。 ・数名の生徒の工夫を教師が取り上げ、作品のよさや工夫したところについて全体で確認し、互いのリズム創作に生かす。 ・1段目に和音の構成音（3音）を使って旋律をつける。 ・楽器で様々な音を出しながら、試行錯誤して旋律を 	<p>ア①言葉のもつリズムや抑揚などに関心を持ち、意欲的にリズム創作をしている。 【観察，学習シート】</p> <p>ウ①歌詞の言葉のリズムや抑揚などを生かしたリズムを記譜している。 【学習シート】</p>	<p>☆歌詞に旋律をつけて、それを学習シートに正確に表している。</p> <p>-----</p> <p>■歌詞に旋律をつけることがまったくできない生徒に対して、個別指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態一斉 ・学習シート

		<p>つくり，階名を書き込ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名の生徒の工夫を教師が演奏して，作品のよさや工夫したところについて全体で確認し，互いの旋律創作に生かす。 			
「自主製作教材」を聴いて気付いたことを旋律創作に生かす。	2	<p>・「自主製作教材」を聴いて，和音で使われている音以外の音を使っていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音の構成音以外の音を使うことによって，旋律がなめらかな感じや自然な感じになったりすることを理解する。 ・自分でつくった旋律にさらに音を加えると，音楽の雰囲気を変化することを理解する。 	<p>ア②旋律を構成する音や音のつながり方に関心を持ち，意欲的に旋律創作をしている。</p> <p>【観察，学習シート】</p> <p>イ①様々な音の組み合わせを考え，イメージを膨らませながら，旋律創作を工夫している。</p> <p>【観察，学習シート】</p>	<p>☆和音の構成音以外の音を使って，よりよい旋律をつくっている。</p> <p>■和音の構成音以外の音をまったく入れることができない生徒に対して，個別指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 一斉 ・鍵盤ハーモニカ ・学習シート
「主人は冷たい土の中に」を聴いて気付いたことを旋律創作に生かす。	3	<p>・「主人は冷たい土の中に」を聴いて，3段目の音楽の工夫（音高を高くして音楽の盛り上がりを表していることを）に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音高を工夫することによって音楽の雰囲気を変化させることができることを理解する。 ・「主人は冷たい土の中に」を聴いて，感じ取ったことをもとに3段目を工夫する。 	<p>ア②旋律を構成する音や音のつながり方に関心を持ち，意欲的に旋律創作をしている。</p> <p>【観察，学習シート】</p> <p>イ①様々な音の組み合わせを考え，イメージを膨らませながら，旋律創作を工夫している。</p> <p>【観察，学習シート】</p>	<p>☆3段目の音高を工夫してよりよい旋律をつくっている。</p> <p>-----</p> <p>■3段目の音高をまったく変化させていない生徒に対して，個別指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 一斉 ・鍵盤ハーモニカ ・学習シート

		<ul style="list-style-type: none"> ・できあがった旋律を5線譜に表す。 			
作品を発表する。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品を聴いて歌詞と旋律とのかかわりによって生み出される雰囲気味わって聴く。 ・教師あるいは生徒が自分でつくった歌を演奏する。 ・互いの工夫のよさを認め合う。 ・自分なりの言葉で気に入った作品について批評文を書く。 	<p>ウ②音を適切に選んで、イメージに合った旋律をついている。 【学習シート】</p> <p>ア③旋律と歌詞とのかかわりに関心を持ち、意欲的に鑑賞している。 【観察，批評文】</p> <p>エ①旋律と歌詞とのかかわりが生み出す曲想を味わって聴いている。 【学習シート，批評文】</p>	<p>☆正しく記譜ができており，作品と工夫の意図が一致している。</p> <p>■記譜ができなかったり，工夫の意図をまったく書いていない生徒を指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 グループ一斉 ・学習シート ・批評文
			<p>☆学習シートに，音楽のイメージと旋律・歌詞などがかかわり合うことによって表現が深まることを記述している。</p> <p>■学習シートにまったく記入できない生徒に対して聴くポイント（工夫しているところ）を示して聴かせる。</p>		

1. 本時の授業（第2時）

- (1) 日 時 平成22年10月23日（土曜日）10:00～10:50
- (2) 場 所 山梨大学教育人間科学部附属中学校 第一音楽室
- (3) 本時の目標 「自主製作教材を聴いて気付いたことを旋律創作に生かす」

(4) 展 開

*教師の指導 ◇学習活動

過 程 (時間配分)	学習のねらい	学習活動及び教師の指導	評価・備考
課題の把握 (5分)	1. 本時の学習課題を知る。 「自主製作教材を聴いて気付いたことを旋律創作に生かそう」	本時は，曲を聴いて気付いたことを旋律創作に生かし，よりよい旋律にするための学習であることを告げる。	
課題の追求 (40分)	2. 「自主製作教材」を聴いて，表現の工夫について気付く。	*「自主製作教材」を教師がピアノで弾き，旋律に和音の構成音以外の音（非和声音）	・学習形態 一斉

	<p>旋律に和音の構成音以外の音を入れることによって旋律の雰囲気を変化することを感じ取る。</p> <p>3. 自分たちで和音進行に合わせて和音の構成音3音でつくった旋律に音（非和声音）を加え、旋律の雰囲気を変えてみる。</p> <p>「自主製作教材」で聴き取ったことをもとに、工夫したいと思うところを1小節選んで歌詞の意味を手掛かりにして、音を加えることを試してみる。</p> <p>リズム、音高などを変化させてもよしとする。</p> <p>4. 数名の生徒の作品を教師が演奏して、作品のよさや工夫したところについて全体で確認し、互いの旋律創作に生かす。</p>	<p>が使われていることに気付かせる。</p> <p>◇聴き取ったことを挙手して発言する。</p> <p>◇鍵盤ハーモニカで直接音を出したりして試しながら、自分のイメージに合う旋律をつくる。学習シートに工夫とその意図について、記述する。</p> <p>*「自主製作教材」で聴き取ったことを生かして試行錯誤できるようにする。</p> <p>*巡視しながら、生徒たちの工夫を取り上げ、全体に広げて、互いの旋律創作に生かす。</p> <p>◇仲間の表現の工夫から参考にできるところを取り入れるようにする。</p> <p>*互いの工夫を認め、互いの旋律創作に生かす。</p>	<p>・学習形態 個人</p> <p>・鍵盤ハーモニカ</p> <p>イ②様々な音の組み合わせを考え、イメージを膨らませながら、旋律創作を工夫している。</p> <p>【観察, 学習シート】</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>5. 次回の学習について知る。</p>	<p>*次回は3段目の工夫をすることを告げる。</p> <p>◇学習感想を記入する。</p>	